

Geospatial Information Forum 2013

G空間社会を支える最先端の技術やサービス

G空間EXPO2013-「地理空間情報フォーラム2013」では、測量や計測という“測る”最新技術の中核にして、地理空間情報の整備・構築から地理空間情報を用いて“調べる”・“計画する”といった利活用技術、さらには、その成果である三次元データや地図等の高度な表現技術を駆使した“見せる”・“伝える”といった情報サービスまで、広範な地理空間情報の世界を知っていただくため、企業・関連団体・学・官の連携による展示会、ベンダーフォーラム、講演・シンポジウム、体験・体感イベントなどを開催します。

多種多様な地理空間情報に関する最新技術の動向情報の提供、地理空間情報の利活用とそのノウハウ、さらには、地理空間情報分野を担う人の交流や人材育成などを通して、G空間社会の実現への貢献を目指すものです。

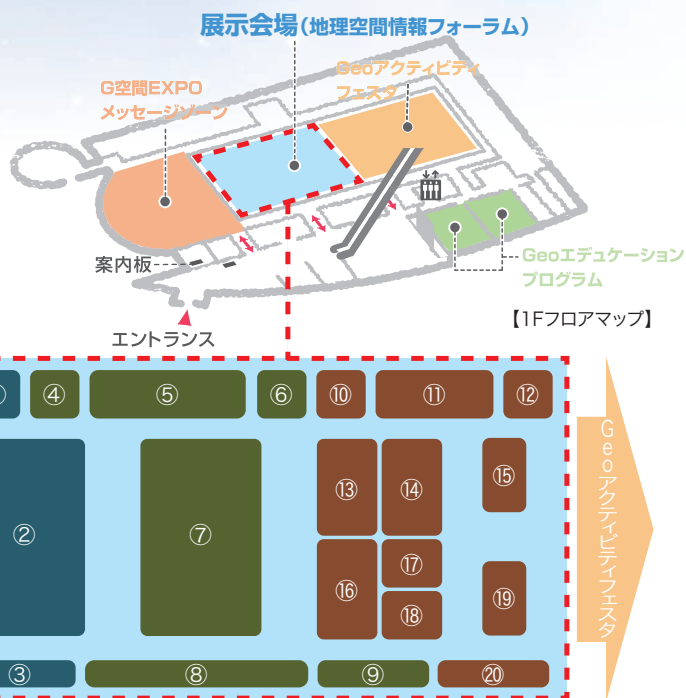
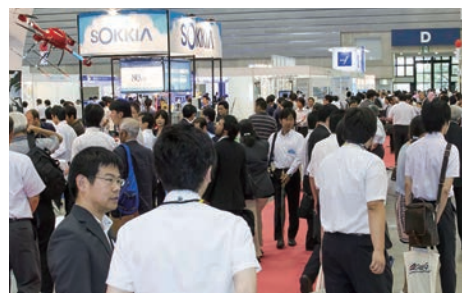
2013年11月		
14日(木)	15日(金)	16日(土)
展示会 (1F 企画展示ゾーン)		
ベンダーフォーラム (7F 会議室2)		
知っ得! 測量時事情報セミナー	地理空間情報フォーラム シンポジウム	第4回 日韓レーザー計測シンポジウム
体験イベント (館内/屋外)		
学生フォーラム (東京国際交流館3F)		

展示会

展示会マップはコチラ➡

G空間社会(地理空間情報高度活用社会)に関わる基盤技術、応用技術、機器やシステム、ソフトウェア、データ、器具・材料、サービスが、産学官連携により一堂に会する科学技術展示です。

- 【会 期】 2013年11月14日(木)・15日(金)・16日(土)
 【開催時間】 10:00~17:00
 【会 場】 日本科学未来館 1F (企画展示ゾーンa)
 【対 象】 一般(児童生徒、社会人、専門家を含む)
 【入 場 料】 無料



ゾーン「宇宙・衛星測位がG空間の未来を拓く」

地球を測り監視する宇宙技術を紹介します。

- 地球上の位置や形を測る 準天頂衛星初号機「みちびき」、準天頂衛星利用実証など
- 地球の営みを監視する 陸域観測技術衛星「だいち2号」、全球降水観測計画GPM、高分解能商業衛星画像、宇宙ステーション・リアル映像など
- 野外だけでなく屋内も測る 屋内測位/シームレス測位など

出展協力者 ①日本スペースイメージング(株)、②内閣府宇宙戦略室、経済産業省、(独)宇宙航空研究開発機構、(一財)衛星測位利用推進センター、(一財)日本宇宙フォーラム/IMESコンソーシアム、準天頂衛星システムサービス(株)、③(株)日立製作所、(株)日立アドバンスドシステムズ、(株)日立産機システム、(株)日立ソリューションズ

出展内容はコチラ➡

ゾーン「最新センサ技術とG空間情報技術が社会を支える」

空間情報の様々な可能性を、空間データ取得・加工・空間解析・流通・利活用・解決策まで、その創造的な技術・サービスを紹介します。

- 空から国土や社会を計測する 航空レーザ、デジタル航空写真、UAVと、その空間データ利用
- 地形や施設を計測する 地上レーザ、モービルマッピングと、その空間データ利用
- 土地・施設を管理する ICタグ、情報杭など
- 超空間を観る 高精度3次元空間情報、3Dビュー、都市空間モデル、都市環境デザイン、シミュレーションなど
- 空間情報ソリューションを提供する 地理空間情報を用いた環境保全、防災減災、安全安心、地域・まちづくりのソリューションなど
- 人社会をつなぐ 移動ロボット、歩行ナビ、AR、衛星画像配信など

出展協力者 ④(株)イメージワン、⑤三菱電機(株)、アイサンテクノロジー(株)、⑥リーグルジャパン(株)、⑦朝日航洋(株)、アジア航測(株)、国際航業(株)、(株)パスコ、⑧(独)産業技術総合研究所、⑨(株)リプロ

出展内容はコチラ▶

ゾーン「広がるG空間コンテンツが安全で豊かな暮らしを創る」

G空間コンテンツとビッグデータ、オープンデータ、クラウドで広がるサービスを紹介します。

- 国土と環境をまもる 国土の防災(地震ハザード、危機管理など)、環境の保全(環境GISなど)
- 建設や農業の生産性を高める 情報化施工(マシンコントロール)、精密農業など
- 情報を地図化し空間を設計する 情報流通基盤、人流マッピング、GISなど
- オープンデータを使う 公共データなどのオープンデータ活用、ビッグデータ、クラウドなど
- 車を安全に運転する ITS(高度道路交通システム)など
- 遊ぶ、楽しむ、旅する、得する スポーツ用ハンディGPS、人ナビ、観光など
- 人社会を知り活かす 人流情報、レストランガイド、O2Oなど
- 電子国土に活かす 電子国土賞2013受賞作品ほか

出展協力者 ⑩ESRIジャパン(株)、⑪(独)防災科学技術研究所、⑫(独)国立環境研究所、⑬経済産業省、⑭(株)KDDI研究所、国立情報学研究所、東京大学、東京急行電鉄(株)、(独)産業技術総合研究所、(一財)日本情報経済社会推進協会、⑮国土地理院、⑯(一社)日本測量機器工業会、⑰(株)ゼンリン、⑱(株)フォーラムエイト、⑲(株)昭文社、⑳ (株)いいよねっと

出展内容はコチラ▶

ベンダーフォーラム

ベンダーフォーラム(技術説明会)は、出展者他が技術や製品・サービスの専門的な詳しい内容を説明します。

【日 時】 2013年11月14日(木) 10:45～17:15(9セッション)
11月15日(金) 10:45～12:00(2セッション)

【会 場】 日本科学未来館 7F 会議室2

【対 象】 専門家向け

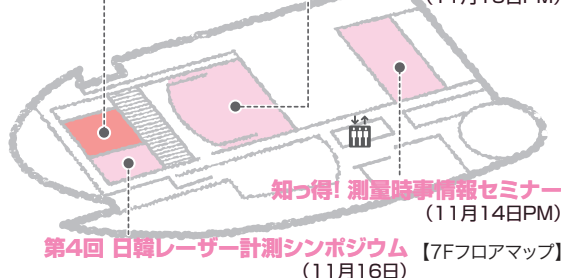
【入場料】 無料

【プログラム】

時間割	11月14日(木)
10:45～11:15	安全・安心を確保する新センサの仕組みと特徴／(株)リプロ
11:30～12:00	電子国土賞/ミネート UC-win/Road 3次元GIS機能とリアルタイムVRシミュレーションへの利活用／(株)フォーラムエイト
12:15～12:45	高精度GPSを搭載したUAVの活用事例／合同会社amuse oneself
13:00～13:30	宇宙利用の新たな幕開け! SkySat衛星登場!／日本スペースイメージング(株)
13:45～14:15	Pix4D社製 次世代空中写真画像処理ソフトウェア／(株)イメージワン
14:30～15:00	空間情報の交差自動修正／アイサンテクノロジー(株)
15:15～15:45	MMS(モービル・マッピング・システム)の活用事例／(株)パスコ
16:00～16:30	
16:45～17:15	
時間割	11月15日(金)
10:45～11:15	屋内測位と拡張サービス・プロセス・リエンジニアリング／(独)産業技術総合研究所
11:30～12:00	

ベンダーフォーラム(11月14日、15日AM)

地理空間情報フォーラムシンポジウム
(11月15日PM)



知っ得! 測量時事情報セミナー
(11月14日PM)

第4回 日韓レーザ計測シンポジウム (11月16日)
【7Fフロアマップ】

シンポジウム

地理空間情報フォーラムは、次のシンポジウムを行います。

※G空間EXPO2013運営協議会が行う他のシンポジウムは、G空間EXPO2013公式サイトをご覧ください。
<http://www.g-expo.jp/>

◆地理空間情報フォーラム2013シンポジウム

※測量系CPDポイントの対象

～これからの測量・地理空間情報界のイノベーションを熱く語る!～

【日 時】 2013年11月15日(金) 13:30～16:30

【会 場】 日本科学未来館 7F みらいCANホール

【主 催】 (公社)日本測量協会, (一社)全国測量設計業協会連合会, (一社)日本測量機器工業会, (公財)日本測量調査技術協会

■ 基調講演「“夢”の測量・空間情報技術」 (公社)日本測量協会 会長 村井俊治

■ 講演「これからの測量・地理空間情報」

(一社)全国測量設計業協会連合会 会長 本島庸介, (一社)日本測量機器工業会 会長 平野 聡,

(公財)日本測量調査技術協会 会長 岡部篤行

■ パネルディスカッション「測量・地理空間情報のイノベーション, 今, これから」

朝日航洋(株) 社長 立野良太郎, アジア航測(株) 社長 小川紀一郎, 国際航業(株) 社長 土方 聡, (株)パスコ 社長 目崎祐史

◆知っ得! 測量時事情報セミナー

※設計CPDポイントの対象

【日 時】 2013年11月14日(木) 14:00～16:30

【会 場】 日本科学未来館 7F イノベーションホール

【主 催】 (一社)全国測量設計業協会連合会

■ 講演「スマート・サーベイ・プロジェクト(SSP)の取り組み」 ―GNSSを活用した測量業務の効率化― 国土地理院測地部長 村上真幸

■ 講演「東日本大震災と今後懸念される巨大地震」 東京大学名誉教授 阿部勝征

◆第4回 日韓レーザー計測シンポジウム

※測量系CPDポイントの対象

【日時】 2013年11月16日(土) 10:30～12:30

【会場】 日本科学未来館 7F 会議室1

【主催】 (公財)日本測量調査技術協会, 韓国測量学会

■ 日韓代表者挨拶 10:30-10:50

(公財)日本測量調査技術協会 事務局長 津沢正晴

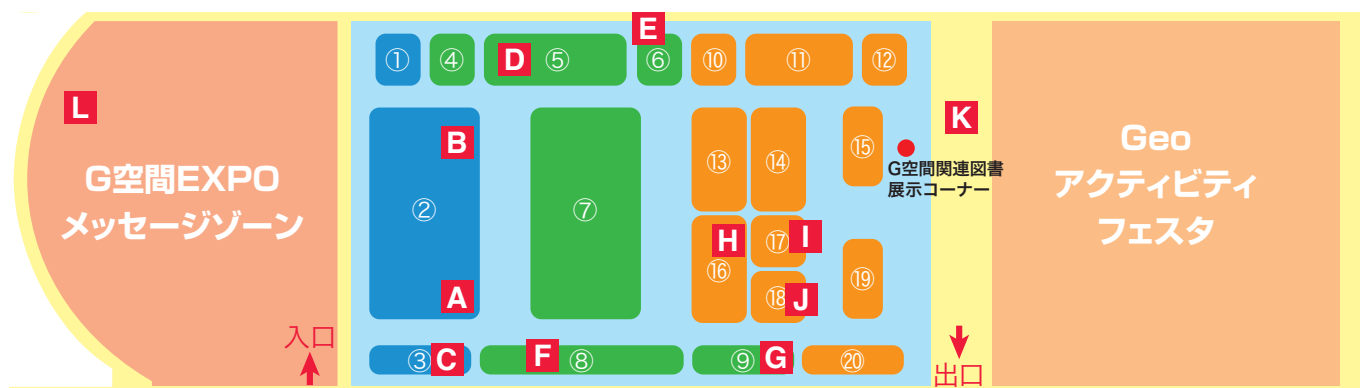
韓国測量学会

■ 基調講演(英語) 10:50-12:30

- Point Clouds Today and Tomorrow: Application and Technical Drivers in a Maturing Market
Hexagon Geosystems社 Ron Roth氏
- Trimble Indoor Mobile Mapping System(通称TIMMS)― IMUと3Dレーザーとの組合せによる高精度屋内計測事例のご紹介
Applanix社 Manfred Sever氏
- Point Cloud Co-registration using Alternative Primitives
Satrec Initiative社 Bang, Ki In氏

体験・体感イベント

イベントマップはコチラ➡



A ◆QZS屋内外(シームレス)測位体験ゲーム

屋外特定位置、または屋内のIMESを設置したパネルに近づくと、スマホにその位置に対応したモンスターが現れ、そのモンスターとバトルするゲームです。同じQZS(Quasi-Zenith Satellite:準天頂衛星)受信機で、屋内外(シームレス)測位が体感できます。

【日 時】 2013年11月14日(木)～16日(土)

【会 場】 展示会場及び屋外 【受 付】 展示ブース②

【実施者】 測位衛星技術(株)、(一財)衛星測位利用推進センター、IMES コンソーシアム、東京エレクトロニクスシステムズ(株)



B ◆宇宙ステーションからリアルな地球を眺めてみよう

国際宇宙ステーション(ISS)は、地上約400km上空に建設されたサッカー場ほどの大きさの宇宙施設です。宇宙ステーションのハイビジョンカメラが撮影したリアルな地球の姿をご覧ください。あたかも宇宙飛行士になった気分を体感!

【日 時】 2013年11月14日(木)～16日(土) 【会 場】 展示ブース②

【実施者】 (一財)日本宇宙フォーラム



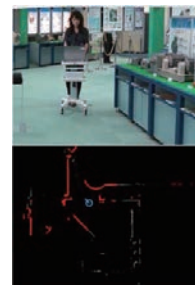
C ◆位置同定コンポーネントICHIDAS体験コーナー

ICHIDASはレーザ距離センサを用いた測位システムです。ロボットなどの移動体に搭載することを目的としています。レーザ距離センサを用いて簡単に地図を作ることができるので、手軽に屋内測位を実現できます。ICHIDASを載せた手押し台車で会場を移動し、ロボットの視覚を体験することができます。

【日 時】 2013年11月14日(木)～16日(土)

【会 場】 展示ブース③

【実施者】 (株)日立産機システム



D ◆トータルステーション、GNSS、電子平板による地図づくり体験

同心円レチクルを搭載したトータルステーションに電子平板システムを接続することで、これまで簡単に計測できなかった円筒・面・突起物・たわみなどを観測・計測できます。このシステムを使った地図づくりを体験してください。

【日 時】 2013年11月14日(木)～16日(土) 【会 場】 展示ブース⑤ 他

【実施者】 アイサンテクノロジー(株)



E ◆3DレーザースキャナーデータでAR体験

地上型3Dレーザースキャナーで計測されたデータを基に作成した3D模型やCGモデルを活用して、AR(Augmented Reality - 拡張現実)体験ができます。実際には存在しない3D-CGを現実空間に重ねて表示する技術です。タブレット端末を印刷物・写真・模型にかざすと3Dモデルが表示され、あらゆる角度から観ることができます。

【日 時】 2013年11月14日(木)～16日(土)

【会 場】 展示ブース⑥

【実施者】 リーグルジャパン(株)



F ◆ロボットと連携する屋内歩行者ナビ

歩行者デッドレコニング(PDR)と呼ばれる相対測位技術と絶対位置取得手段を組み合わせた歩行者ナビの体験イベントです。体験者には携帯端末を持って会場内を歩いて頂きます。その端末や展示ブースの大型モニタには屋内3Dモデル(地図)と体験者の位置や向きなどが表示されます。移動ロボットとの連携デモも予定しています。

【日 時】 2013年11月14日(木)～16日(土)

【会 場】 展示ブース⑧ 【実施者】 (独)産業技術総合研究所



G ◆G空間ゾーンスタンプラリー —NFCによる会場周回体験

NFC(近距離無線通信技術)カードを展示ブース⑨で受け取り、展示会場に設置されたスタンプ台にかざし、スタンプを集めてください。展示ブース⑨で会場周回の履歴を確認し、会場内をくまなく回れた方はプレゼント(「奇跡の一本松」記念エコキャップ)がもらえます。

【日 時】 2013年11月14日(木)～16日(土) 【会 場】 展示ブース⑨

【実施者】 (株)リプロ 【協 力】 NTTソフトウェア(株)



H ◆トラクターのハンドルを握って精密農業を体験

シミュレータを使って、圃場でのGPSガイダンス走行や自動操舵補助走行をデモ体験していただけます。トラクターのハンドル操作や目視での直線走行は思ったよりも難しいものです。

今回は運転席のライトバーとカーナビのような地図画面を見ながらのガイダンス走行や、ボタン一つで自動操舵補助に切り替えてのスムーズ走行で精密農業の便利さを体感いただけます。

【日 時】 2013年11月14日(木)～16日(土) 【会 場】 展示ブース⑩

【実施者】 (一社)日本測量機器工業会



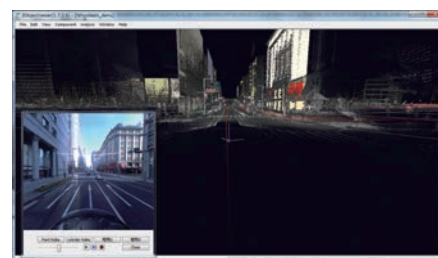
I ◆自動車の安全・安心の実現に貢献する高精度地図データベース

高精度レーザー計測車両を使用した地図調査による、三次元地図情報と車両側センサーを組み合わせることにより自車位置の高精度測位や、交差点内の衝突事故に対する警告・回避に貢献できます。

自動車の安全安心を実現するための「高精度地図データベース」を3Dビューでご覧下さい。

【日 時】 2013年11月14日(木)～16日(土)

【会 場】 展示ブース⑪ 【実施者】 (株)ゼンリン



J ◆UC-win/Road による3次元GIS、点群体験

3次元リアルタイムバーチャルリアリティソフトUC-win/RoadのGIS機能、点群による3次元空間の表現機能の他、電子国土を活用した道路損傷情報システム、BCP作成支援ツールを体験していただけます。また3次元空間をスマートフォンから操作できるVR-Cloud®で、GPS機能を用いた写真登録機能をご紹介します。

【日 時】 2013年11月14日(木)～16日(土)

【会 場】 展示ブース⑫ 【実施者】 (株)フォーラムエイト



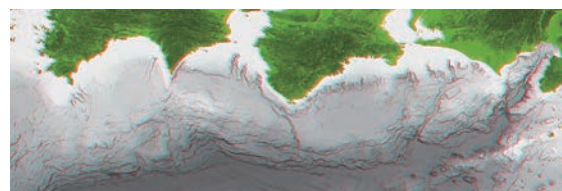
K ◆3D海底地形図

測量船に登載された最新技術のマルチビーム音響測深機や画像処理を駆使して作成された、日本を取り巻く海の海底地形を三次元でご覧下さい。

【日 時】 2013年11月14日(木)～16日(土)

【会 場】 日本科学未来館 地理空間情報フォーラム展示会場 出口

【協 力】 海上保安庁



L ◆測量コンテスト「知恵比べ、精度比べ」

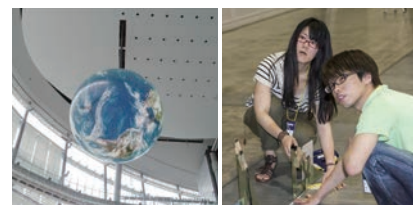
測量の原理・原則に立ち返り、技術を競い合います。測量テーマは、日本科学未来館に設置されている地球儀「ジオ・コスモス」の平均半径です。精密機器部門と自作機器部門で行います。

【日 時】 2013年11月14日(木)～16日(土)

【会 場】 日本科学未来館 1F メッセージゾーン 【実施者】 (公社)日本測量協会

※「測量コンテスト」参加者募集中！ 申込み締切:10月4日(金)

[募集案内/参加の手引きはコチラ➡](#) [参加チームはコチラ➡](#)



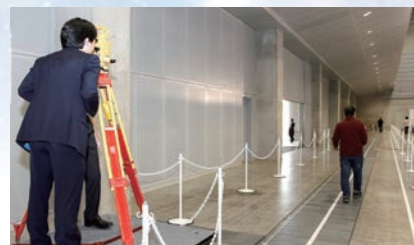
◆距離を測る体験「歩測大会」

伊能忠敬やプロゴルファーになったつもりで、「歩測」してください。最初に自分の歩幅を調べ、歩いて距離を測ってください。誤差の少ない人には認定証「歩測の達人」を贈呈。

【日 時】 2013年11月14日(木)～16日(土) 【会 場】 日本科学未来館 1F

【対 象】 どなたでもご参加いただけます(当日参加受付)

【実施者】 (公社)日本測量協会



◆大型測量船「拓洋」一般公開

会場案内パンフはコチラ▶

大型の測量船「拓洋」(2,400トン、全長96m)が公開されます。「拓洋」には最新の測量機器が搭載され、わが国周辺の海底地形、地殻構造、領海基線などの調査を実施して海図等に反映されます。また、本年3月からは、自律型潜水調査機器(AUV)が搭載され、精密な海底地形情報の取得が可能になりました。

【日 時】 2013年11月16日(土) 10:00～16:00

【会 場】 船の科学館前 航海訓練所専用棧橋
(ゆりかもめ/船の科学館駅下車、徒歩400m)

【協 力】 海上保安庁 ミッションおよび天候等により、中止になる場合があります。



G空間EXPO学生フォーラム

詳しくはコチラ▶

今年もG空間EXPOに合わせまして、学生フォーラム2013を開催いたします。

学生フォーラムとは、地理情報分野のボトムアップを目的とした学生による学生のための学術交流の場です。

学生が普段おこなっている研究をポスター発表します。

ポスターセッションの他に特別講演としてGIM編集発行人Mr. Bal Krishnaさんによる講演を予定しております。

今年からは留学生との学術交流を促すため、英語セッションの開催も受け付けております。博士を目指す方、海外のジャーナルに投稿をお考えの方、英語による発表の練習がしたい方、是非練習の場としてどうぞ。

地理情報分野の若手コミュニティの場へのご参加お待ちしております。

【日 時】 2013年11月14日(木) 9:00～21:00

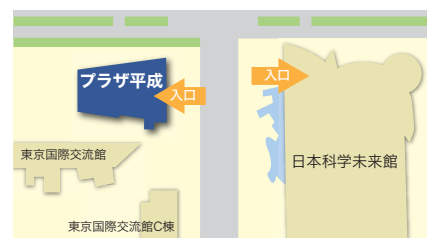
【会 場】 東京国際交流館 プラザ平成 3F メディアホール

【主 催】 G空間EXPO学生フォーラム運営委員会 協力:(公社)日本測量協会

【後 援】 (独)日本学生支援機構

【プログラム】

- 研究室紹介 ■ 交流イベント ■ 研究発表セッション(日本語および英語)
- 講演(英語)「地理空間情報の国際的な動向について」(仮題)
Mr. Bal Krishna 地理空間情報の国際的な科学誌『Coordinates』編集者(インド国)



※論文締切 2013年11月5日(日) 詳しくは、http://gi-studentjp.org/s_forum/

地理空間情報フォーラム2013主催者

公益社団法人 日本測量協会、一般社団法人 全国測量設計業協会連合会、一般社団法人 日本測量機器工業会、
公益財団法人 日本測量調査技術協会 《事務局:(公社)日本測量協会》